

その問題、心理の専門家に相談しますか？

—Yahoo!知恵袋における「メンタルヘルス」と「不登校」カテゴリーの質問の分析—

澤田 戒・福井義一（甲南大学）

問題

2018年、心理専門職の国家資格である公認心理師が誕生
(2022年11月時点で、約7万人)

→人々の心理専門職に対する援助要請が低調であるため、その抑制要因の特定が急務

Yahoo!知恵袋の質問数
約800万件/1年

心理専門職への相談が妥当または可能だと考えられる12カテゴリー

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. メンタルヘルス | 7. 家族関係の悩み |
| 2. 不登校 | 8. 職場の悩み |
| 3. うつ病 | 9. 学校の悩み |
| 4. ストレス | 10. 友人関係の悩み |
| 5. 治療・カウンセリング | 11. 生き方・人生相談 |
| 6. 発達障害 | 12. 恋愛相談・人間関係の悩み |

インターネット上での問題解決を試みる傾向

抑制

心理専門職への援助要請

目的

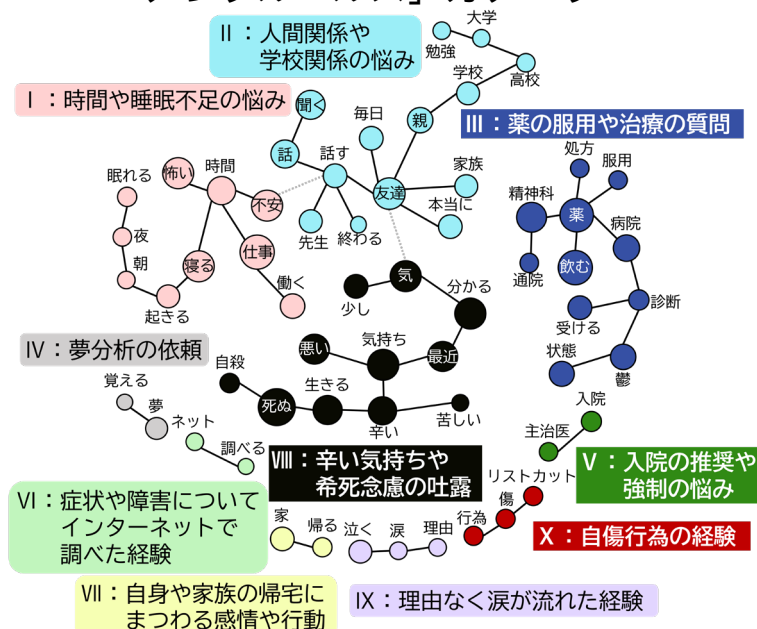
Yahoo!知恵袋において、心理専門職による支援が必要な重大問題である「メンタルヘルス」と「不登校」カテゴリーの質問内容にテキスト・マイニングを実施し、インターネット上での問題解決行動の全容を把握する

方法

KH Coder (樋口, 2020) によりテキスト・マイニングを実施
Yahoo!知恵袋データ (第3版) の質問のうち、「メンタルヘルス」カテゴリー (2,588件) と、「不登校」カテゴリー (445件) を対象に、共起ネットワーク分析を実施

結果と考察

「メンタルヘルス」カテゴリー

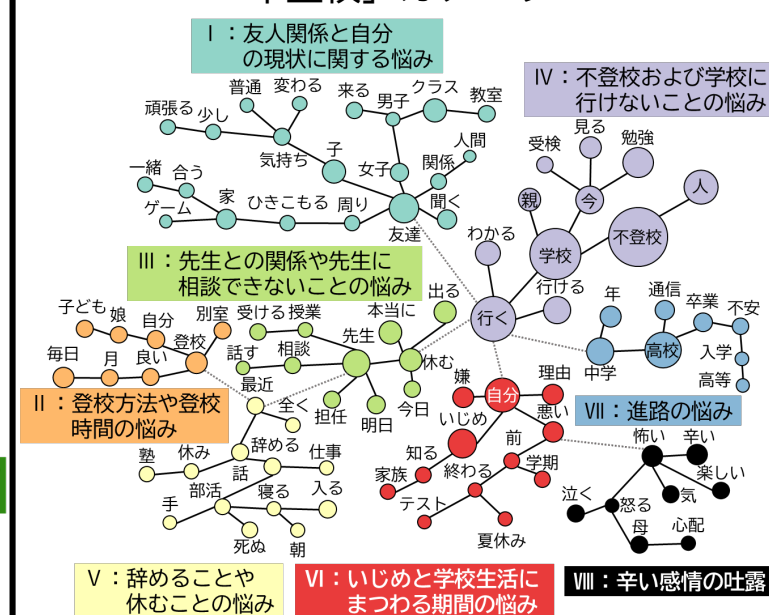


希死念慮や自傷行為、入院、服用等、生命や健康を脅かす重大な問題の質問が多い

このような問題について、専門家への相談は必要なく、インターネットで手軽に解決できるといった考えの蔓延が示唆

メンタルヘルスおよび不登校の質問内容から、心理専門職への相談が妥当な問題であっても、インターネット上での問題解決を試みる傾向がみられた

「不登校」カテゴリー



いじめや登校方法、進路、辛い感情等、児童生徒一人での解決が難しく、周囲の人々による支援が必要な問題の質問が多い

不登校に関して、専門家を含んだ周囲の人々への相談ができず、インターネットに頼らざるを得ない状況にあることが示唆